

□第10期 第5回 外国人市民会議のまとめ

〔日時〕 令和6年（2024年）10月30日（水曜） 午前10時から11時10分

〔会場〕 くらしかん3階体験学習室

〔出席者(敬称略)〕

委員：愼 成埃、張 雅斐、鄭 倩、黄 少熙、楊 瑜、李 霞

事務局：山口人権文化担当理事、津田市民協働部次長兼人権政策課長、高田課長補佐、橘田

〔傍聴者数〕 3名

〔会議内容〕

案件1. 前回国議の振り返り

→ 資料1『第10期第4回外国人市民会議のまとめ』を用いて、第4回目が出た意見の振り返り。

案件2. 第10期外国人市民会議報告書（案）について意見交換

→ 資料2『第10期外国人市民会議報告書（案）』を用いて、追加・修正点の意見交換。

<主な意見>

委員：自転車のルールについての講座が必要。国によっては、生活の中で自転車に乗る習慣があまりないが、日本に来て自転車に乗らないといけないことが多い。ルールを知らずに違法をしてしまい戸惑うことがある。簡単なものでいいが、わかりやすい動画や漫画などを使っての情報発信があれば助かる。

また、ごみの出し方も国によって違うため、どのように出したらいいのか教えてほしい。

委員：報告書に書いてあるものがいつどのように実現されるのか。

→市：報告書を市長に渡して報告をした後、実現可能なものと協議が必要なものとあると思うが、実現したものについては委員の皆さんへ報告したいと思う。

委員：日本はごみの分別をきちんとやっており、外国人も日本のルールを守って分別したいと思っている。ごみの分別表もあるが、細かくてわかりにくい。金属と書いてあるが、どのようなものが金属なのかがわからず具体的にわかるものがあればいいと思う。

委員：小学校に行って、韓国の文化やハングルを教える仕事をしている。そこで外国にルーツを持っている子どもから困りごとについて相談されることがある。子どものためになにかしてほしい。

委員：この報告書は誰に見せるのか。

→市：この報告書を市長のところに持っていき、第 10 期で出た意見を報告する。また、報告書だけでなく、報告書をもっと簡単にした概要版を作り、多言語に翻訳したものを市役所に置いたり、市のホームページに掲載したり、誰でも見ることを出来るようにする。

委員：豊中市では外国人が増えており、毎週金曜日の朝にとよなか国際交流センターで日本語を学んでいる。今はボランティア 1 人に 4 人の生徒がついており、もう少しボランティアを増やして欲しい。

また、日本に来た外国人は特に病院に行くことに不安を感じる。

委員：私の子どもの学校では、自転車の交通ルールを学ぶ講座がある。

また、ごみの出し方についていつも分厚い本を見ながら分別しているが、少しわかりにくい。

もっとわかりやすく大きい紙に書いてほしい。

→市：市役所 5 階の人権政策課に「ごみと再生資源の分け方・出し方早わかりガイド」が置いてある。

分別について具体的に書いてほしいという意見は、担当課に共有するが、そもそも早わかりガイドを知らない外国人がいたら教えてあげてほしい。市のホームページにも掲載されているが、紙がよければお渡しするので人権政策課まで来てほしい。

委員：病院での通訳を利用しようと思うとやはり高い。通訳機を使えばいいという意見もあるが、うまく翻訳されずに間違っただけを伝えないように翻訳機を使ってくれない病院が多い。病院での通訳ボランティアは市役所で募ったりしているのか。どこにボランティア申し込みをしたらよいか窓口が分からない。

→市：令和5年度より、外国人へ行政手続き以外の通訳をしている団体へ補助金を交付する「通訳付添いサポート」という事業を開始した。興味ある方は連絡をもらえれば通訳支援をしている団体を紹介する。また、豊中市に住む外国人は3回まで無料で通訳支援を受けられる。4回目以降は有料になるが、そのようなサービスもしている。

委員：通訳付添いサポートオープンセミナーに参加したことがあるが、医療通訳サポーターになるにはどこに申し込んだらいいのかわからない。

→市：そのセミナーは市が補助金を交付している団体なので、その団体に一度聞いてまたお伝えする。

委員：学校に行って通訳支援するというものは聞いたことがあるが、医療通訳の支援は初めて聞いた。

→市：学校への通訳支援は教育委員会で行っている。

委員：以前、子どもの体調が悪くなり病院に行ったが、急だったので通訳を付けられなかった。夫は日本語が流暢なため、夫とテレビ電話をつなげて通訳してもらったことがある。そのように緊急の場合にオンライン診療ができたらいいと思う。

委員：病院で通訳者を雇うというのは難しいかもしれないが、常に通訳者がいれば安心できる。

市：市でも外国人向けにいろいろなお知らせを発行しているが、どのように発信したら外国人に対してより広く届くのか教えてほしい。

→委員：市のホームページのトップページに外国人用のページをつくり、それぞれのカテゴリーに分けたものを作ってほしい。外国人向けにまとまった市の情報がクリックしたら見ることができる

といい。また、転入手続きの時に、冊子などを自由に持ってきてくださいと案内しても、そもそもその日本語がわからない場合がある。そのため、カラーの写真を見せて案内したり、二次元コードを渡したりする方がいい。また、病院、ごみ分別などコンテンツごとに分けられており、難しい日本語ではなくマルやバツで注意事項が書かれていたらわかりやすい。

委員：外国人向けのホームページはやはりあった方が良くと思う。動画も難しかったら見ようと思えないため、NHK の子ども番組のように簡単な画像と歌を歌いながら何がよくて悪いかすぐに見てわかるものがある。動画でも長いとわかりにくいし、どこがポイントなのかすぐにわかるものがある。

委員：毎年発行されるごみカレンダーなど、日本語版の上に多言語版用の二次元コードを記載しておくというのではないかと。紙が必要であれば、市役所に取りに来てくださると書いておいて、自分で読み込めるようにしたらいいと思う。

委員：私は紙でもらったら必ず家の壁にはるため、紙はあった方がいい。私はたぶんホームページはあまり見ないと思う。

案件3. その他

→ 次回の市長報告会について説明。